コロンビア経済（２０１４年５月）

【ポイント】

●コロンビア日野自動車は車輌組立総数20,000台を達成し，15日，記念式典を催した。

●27日，対日投資協定が下院本会議で議決された。

●30日，中銀は2ヶ月連続で政策金利を0.25％引き上げ，3.75％とした。

【本文】

１　主な出来事

＜国内情勢＞

（１）経済見通し（10日，当地紙報道）

　中銀は2014年第1四半期の経済成長率が＋4.8％であったと発表した。

（２）政策金利（30日，当地紙報道）

　30日，中銀は国内経済が好調に推移しているとして，2ヶ月連続で政策金利を0.25％引き上げ，3.75％とした。

（３）対外債務（5日，当地紙報道）

　中銀は，2014年1月末時点の対外債務が933.60億ドルとなり，前年同期比で126.21億ドル増加したと発表した。

（４）対内直接投資（17日，当地紙報道）

　中銀は，2014年4月までの対内直接投資（速報値）が52.91億ドルで，前年同期比3.6％減少したと発表した。

（５）インフラ：ブエナベントゥーラ港（30日，当地紙報道）

　ブエナベントゥーラ地域港湾会社によれば，1993年から2013年の20年間で港湾整備に投資した額は3.82億ドルであり，取扱貨物量は99.8％増加した。

（６）企業動向

（ア）コロンビア日野自動車（15日，当地自動車業界情報誌報道）

　コロンビア日野自動車は，2008年10月の操業開始以来，車輌組立総数20,000台を達成したことを記念し，同社工場にて式典を盛大に催した。同社は従業員205名，車輌組立台数29台／日と，操業当初から規模を拡大し，工場は環境への配慮がなされたものである。車輌も二酸化炭素排出基準を満たし，燃費も非常に高いものとなっている。

（イ）マツダ自動車（24日，当地紙報道）

　ファビオ・サンチェス　マツダコロンビア会社（CCA:Compania Colombia Automotriz）社長は，新たにマツダコロンビア（MCOL：Mazda de Colombia，出資：マツダ株式会社100％）を設立し，日本，タイ，メキシコで製造された車輌及び自動車部品の販売を行う予定であることを発表した。

＜対外経済関係＞

（１）対日投資協定関連（28日，当地紙報道）

　ロハス商工観光大臣は，27日に対日投資協定が下院本会議で議決されたことを受け，本協定は二国間の投資について法的な保証及び安全性を与えるものであり，今後日本からの投資が増加することで雇用創出が見込まれると述べた。

（２）対米FTA関連（9日，当地紙報道）

　コロンビアは対米FTA発効後，新たに1,689種類の生産品が輸出され，輸出業者は3,896社増加したが，直近4ヶ月間は対米貿易収支は赤字である。

（３）対EU FTA関連（17日，当地紙報道）

　憲法裁判所は，現在暫定的に発効している対EU FTAを違憲と判断したが，今後6ヶ月の間に憲法裁判所において正式な発効手続きを終えれば，何らその効力に影響を及ぼすものではないとした。

（４）対日FTA関連（13日及び21日，当地紙報道）

　5月12日から16日，東京でEPA交渉第5回会合が行われ，日本側は外務省中南米局長の山田彰首席交渉官，コロンビア側は商工観光省のハビエル・ガンボア首席交渉官がそれぞれ交渉を主導した。

　東京で行われたEPA交渉第5回会合は終了し，市場へのアクセス，競争等の分野について進展があった。

（５）対韓国FTA関連（16日及び28日，当地紙報道）

　下院第二委員会は，対韓国FTAの審議を6月3日に延期した。なお，この延期で6回目となり，本国会会期中に議決することは極めて難しい状況となった。在コロンビア韓国大使は，農業関係者に対韓国FTAの意義を理解してもらえていないと述べた。

（６）対コスタリカFTA関連（6日，当地紙報道）

　5日，コスタリカ大統領は対コロンビアFTAに署名した。今後はコロンビアの国会審議の手続きを待つこととなる。

（７）太平洋同盟関係（25日及び31日，当地紙報道）

　憲法裁判所により太平洋同盟枠組協定が違憲とされたことを受け，政府は新法案を国会に提出し，28日に上院第二委員会及び下院第二委員会で議決された。今後は速やかに上院及び下院本会議で審議される。

　30日，メキシコで行われた第11回閣僚級会合にオルギン外務大臣及びロハス商工観光大臣が出席し，各分野（人・資本・サービスの移動，経済協力，対外関係，中小企業支援，貿易と統合等）での専門家会合の進捗状況の確認，第９回首脳会合のアジェンダ設定が行われた。また，太平洋同盟における地域統合の鍵となるオブザーバー国３０カ国との協力関係構築についても話し合われた。

＜経済指標＞

（１）経済活動全般

（ア）実質工業生産指数（DANE発表）

　3月の実質工業生産指数（コーヒー豆加工を除く）は前年同月比＋9.8％であった。

　※昨年3月は聖週間休暇（セマナ・サンタ）があったため，指数は減少している。

（イ）実質小売売上高指数（DANE発表）

　3月の実質小売売上高指数は前年同月比＋8.3％であった。

（ウ）消費者信頼感指数（Fedesarrollo発表）

　4月の消費者信頼感指数（ICC）は，17.9％と前月（17.5％）を0.4％ポイント改善した。　一方，前年同月比では5.8％ポイント悪化した。

（２）産業動向

（ア）原油生産量（鉱山・エネルギー省発表）

　4月の石油生産量は日量93.5万バレルであり，前年同月比▲4.3％となった。2ヶ月連続で100万バレルを下回った。

（イ）コーヒー

（ⅰ）生産（コーヒー生産者連盟（FNC）発表）

　FNC加盟コーヒー生産者による4月のコーヒー生産量は83.2万袋（1袋＝60kg）となり，前年同月比で▲14.2％と減少した。

（ⅱ）価格（国際コーヒー機関発表）

　5月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均1ポンド＝2.12ドル（前月は同2.21ドル，前年同月は同1.58ドル）であった。

（３）物価・雇用（DANE発表）

（ア）物価

　4月の消費者物価上昇率は＋2.72％（前年同月比，以下同），生産者物価上昇率は＋0.43％であった。

（イ）雇用

　4月の全国平均失業率は9.0％と，前年同月の10.2％より1.2ポイント改善した。また，主要13都市の平均失業率も9.2％と，前年同月の10.7％より1.5ポイント改善した。

（４）貿易収支（DANE発表）

　3月の貿易収支（FOB）は，2.76億ドルの赤字であった。輸出（FOB）全体では，前年同月比▲4.5％の44.07億ドル，輸入（CIF）全体では，前年同月比＋9.4％の49.11億ドルとなった。（了）